

# 共同経営・統合新病院に係る 整備場所の比較検討資料

令和6年7月21日  
青森県病院局

## <基本データ①>

項目		青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺																																				
敷地概要	図面																																						
	敷地内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名称</th> <th>面積(㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>青い森セントラルパーク</td> <td>約7.4万</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【連絡通路設置などで活用可能な敷地】</td> </tr> <tr> <th></th> <th>名称</th> <th>面積(㎡)</th> </tr> <tr> <td>②・③・④</td> <td>青森操車場跡地周辺整備推進事業用地</td> <td>約8.3万</td> </tr> <tr> <td>条件付面積</td> <td>無条件想定面積</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>約8.3万</td> <td>約7.4万</td> <td>約15.7万</td> </tr> </tbody> </table>		名称	面積(㎡)	①	青い森セントラルパーク	約7.4万	【連絡通路設置などで活用可能な敷地】				名称	面積(㎡)	②・③・④	青森操車場跡地周辺整備推進事業用地	約8.3万	条件付面積	無条件想定面積	合計	約8.3万	約7.4万	約15.7万	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名称</th> <th>面積(㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>県営スケート場</td> <td>約4.3万</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>浜田中央公園</td> <td>約3.0万</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>サンドーム</td> <td>約1.5万</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>約8.8万</td> </tr> </tbody> </table>		名称	面積(㎡)	①	県営スケート場	約4.3万	②	浜田中央公園	約3.0万	③	サンドーム	約1.5万	合計		約8.8万
		名称	面積(㎡)																																				
	①	青い森セントラルパーク	約7.4万																																				
	【連絡通路設置などで活用可能な敷地】																																						
		名称	面積(㎡)																																				
	②・③・④	青森操車場跡地周辺整備推進事業用地	約8.3万																																				
	条件付面積	無条件想定面積	合計																																				
	約8.3万	約7.4万	約15.7万																																				
		名称	面積(㎡)																																				
①	県営スケート場	約4.3万																																					
②	浜田中央公園	約3.0万																																					
③	サンドーム	約1.5万																																					
合計		約8.8万																																					
位置	中央部	中央部南																																					
敷地面積	約7.4万㎡	約8.8万㎡																																					
所有者	県	青森市																																					
用地取得費用	無	無																																					
既存建物等	トイレ、園路等	スケート場、サンドーム(屋内運動場)、公園施設																																					
文化財保護	該当なし	該当なし																																					
用途地域	準工業地域 (容積率200%・建ぺい率60%)	準工業地域 (容積率200%・建ぺい率60%) / 公園																																					

<基本データ②>

項目		青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺		
まちづくり	都市計画（拠点区域）	都市機能誘導区域	生活拠点区域		
	圏域人口	800m	26,064人	13,164人	
		2km	92,124人	48,626人	
5km	218,553人	196,679人			
通院アクセス	自動車到達圏人口	15分	174,719人	148,485人	
		30分	259,451人	254,738人	
	最寄りの幹線道路	1km以内（国道103号、県道120号）	幹線道路沿い（国道7号青森環状道路）		
	幹線バスの状況	平日4便（総合体育館前）	平日4便（スケート場）		
	最寄駅からの距離	筒井駅から1.8km	筒井駅から2.9km		
救急搬送	救急車到達圏人口	5分	78,225人	55,843人	
		10分	182,747人	164,423人	
	高速道路からの距離	青森中央ICから3.5km	青森中央ICに隣接		
災害関連	地震被災想定	日本海溝	震度5強	※浜田中央公園・県営スケート場周辺の各圏域人口については、青森市の検討会議資料から、浜田中央公園・県営スケート場に最も近い地点の数値	震度5強
		入内断層	震度6弱		震度6弱
	津波被災想定	日本海溝	該当なし		該当なし
		入内断層	該当なし		該当なし
	洪水被災想定	計画規模	該当なし		該当なし
想定最大規模		浸水想定区域	一部浸水想定区域		

## <基本データ③>

項目			青い森セントラルパーク		浜田中央公園・県営スケート場周辺	
			距離(km)	時間(分)	距離(km)	時間(分)
市外からの距離及び到達時間	平内町	自家用車	27.4	53	31.2	<b>43</b>
		公共交通機関		<b>56</b>		71
	その他東津軽郡 (外ヶ浜町)	自家用車	31.4	<b>53</b>	36.8	58
		公共交通機関		75		<b>74</b>
	南部生活圏① (八戸市)	自家用車	88.1	98	85.9	<b>90</b>
		公共交通機関		<b>116</b>		136
	南部生活圏② (十和田市)	自家用車	63.8	85	61.3	<b>77</b>
		公共交通機関		<b>105</b>		122
	津軽生活圏 (弘前市)	自家用車	47.8	60	45.6	<b>53</b>
		公共交通機関		<b>74</b>		80
下北生活圏 (むつ市)	自家用車	108.0	125	105.0	<b>120</b>	
	公共交通機関		<b>148</b>		163	

- 距離及び時間は( )に記載している市町を出発点とし、ルート検索アプリにて算出（検索条件により交通状況が反映）
- 自家用車については、「3月上旬の平日朝(8:15までに到着)」、「可能な場合には高速・有料道路を利用」という条件で検索
- 公共交通機関については、できるだけ早く到着できる経路を選定しており、バス路線延伸を要する箇所については、最寄りバス停からの徒歩距離を基に所要時間を算出

## <メリット・デメリット①>

項目		青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺
まちづくり	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 青森市の立地適正化計画で、<b>都市機能誘導区域</b>に位置付けられており、<b>医療施設の立地に適している</b></li> <li>□ 中心市街地に近く、都市機能が集中しているため、コンパクトなまちづくりが可能</li> <li>□ 周辺の市有地について活用の可能性あり（ただし北側用地については線路をまたぐ通路が必要）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 青森市の立地適正化計画で、<b>生活拠点区域</b>に位置付けられており、<b>医療施設の立地に適している</b></li> <li>□ 近隣に<b>商業施設が立地しており回遊が生じやすい</b></li> <li>□ <b>周辺の敷地にも余裕があるため、関連施設の立地等の可能性があるほか、まちづくりの波及の面でも余地がある</b></li> </ul>
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 近隣の商業施設からは若干距離があり、<b>商業施設との回遊の面ではやや難がある</b></li> <li>■ まちづくりの波及という面では、<b>周辺が住宅街となっており、新たな開発の余地が少ない</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>浜田中央公園（都市公園）、県営スケート場、サンドームの移設が必要</b></li> </ul>

<メリット・デメリット②>

項目		青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺
通院アクセス・救急搬送	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 市の中心部に位置し、市内からの移動距離としては優れる</li> <li>□ 新駅・自由通路が設置された場合、アクセス向上の可能性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 基幹道路（国道7号）や青森中央ICに隣接し、外環状周辺エリアの中では市内からのアクセスに優れ、全県からの広域アクセスにも優れる</li> <li>□ 敷地に面する道路が4方向（東西南北）あり、車両の分散による渋滞軽減が可能</li> <li>□ 片側2車線の幹線道路（国道7号）に面していることから、渋滞時の救急車両の走行に柔軟に対応可能（車道拡幅などの対策も不要）</li> <li>□ 国が管理する片側2車線の幹線道路（国道7号）に面していることから、冬期間の車道幅員が十分に確保される ※新雪除雪は5cm～10cm程度の降雪量を目安</li> </ul>
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県道(幹線道路)からセントラルパークに接続する道路(市道)が狭く、市道の渋滞が懸念</li> <li>■ 線路及び高架橋で囲まれ、敷地に面する道路が1方向(南)のみとなっており、患者や職員等の自家用車、バス・タクシー、救急車などの車両の集中による渋滞が懸念</li> <li>■ 渋滞時の救急車両走行の対策として車道拡幅などが必要であり、東西道路の改良では補助金返還が生じる</li> <li>■ アクセス対策として求められている新駅・自由通路の設置は、かなりの経費と時間を要する</li> <li>■ 公共交通としてのバス路線については、利用者の利便性を考慮した見直しが必要</li> <li>■ 敷地に面する道路への車両の集中を防ぐため、八甲田大橋から直接アクセスする道路の設置と、そのための八甲田大橋の架替が必要</li> <li>■ 片側1車線の市道にしか面していないため、冬期の車道幅員確保に懸念</li> </ul>	<p>※ 青い森鉄道が運行していない時間帯の工事（3時間程度/日）となるほか、JR貨物の運行を考慮した工事期間や工事時間の設定が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公共交通としてのバス路線については、利用者の利便性を考慮した見直しが必要</li> </ul>

## <メリット・デメリット③>

項目	青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺
災害関連	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 津波災害警戒区域・陸奥湾沿岸高潮浸水想定区域の範囲外</li> <li>□ 第2次緊急輸送道路（市道）に接続</li> <li>□ 災害により道路が利用できない場合であっても、市の中心部にあり、徒歩圏人口が多いことから、徒歩でのアクセス性が高い</li> <li>□ 指定緊急避難所兼指定避難場所に指定されている青森市総合運動体育館と隣接することから、連携した災害対応が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 津波災害警戒区域・陸奥湾沿岸高潮浸水想定区域の範囲外</li> <li>□ 第1次緊急輸送道路（国道7号）に面している</li> <li>□ 道路啓開計画（案）において、<b>基軸ルート（国道7号）と拠点接続ルート（市道）に指定されており、災害時に優先的に啓開</b></li> <li>□ 電柱・電線が倒れた場合、片側2車線で幅員が広いため、<b>通行の確保が期待</b>できる 仮に通行不能となった場合においても啓開作業は比較的容易と考えられる</li> <li>□ 洪水浸水想定区域の範囲内ではあるが、<b>周辺エリア一帯が浸水するわけではなく、スケート場の建物部分や周辺道路の一部等は浸水想定から外れている</b></li> <li>□ 災害発生時（想定最大規模の洪水）にも高速道路は浸水しないため、仮に青森中央ICからのアクセス道路を整備した場合には<b>アクセス性が確保</b>される</li> </ul>
	<p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 道路啓開計画（案）の<b>拠点接続ルートに指定されておらず、災害時に啓開作業が優先されないおそれ</b></li> <li>■ 電柱・電線が倒れた場合、片側1車線で幅員が狭いため、<b>啓開作業に期間を要するおそれ</b></li> <li>■ 洪水浸水想定では、敷地・周辺道路を含む<b>周辺エリア一帯が浸水</b>（平均浸水深0.6m、最大約1.8m）</li> <li>■ 周辺エリア一帯が浸水するため、災害発生時の<b>アクセス性に難</b>がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 洪水浸水想定では、<b>県営スケート場駐車場で約0.5mの浸水、浜田中央公園で約2.3mの浸水</b></li> <li>■ 県営スケート場は指定緊急避難場所兼指定避難場所、浜田中央公園は指定緊急避難場所に指定されており、両施設が移設されるまで、<b>代替施設・用地の確保が必要</b></li> <li>■ 県営スケート場及びサンドームは災害時の1次物資拠点に指定されており、両施設が移設されるまで、<b>代替施設の確保が必要</b></li> <li>■ 浜田中央公園には調整池としての機能を有していることから、<b>代替機能の確保が必要</b></li> </ul>

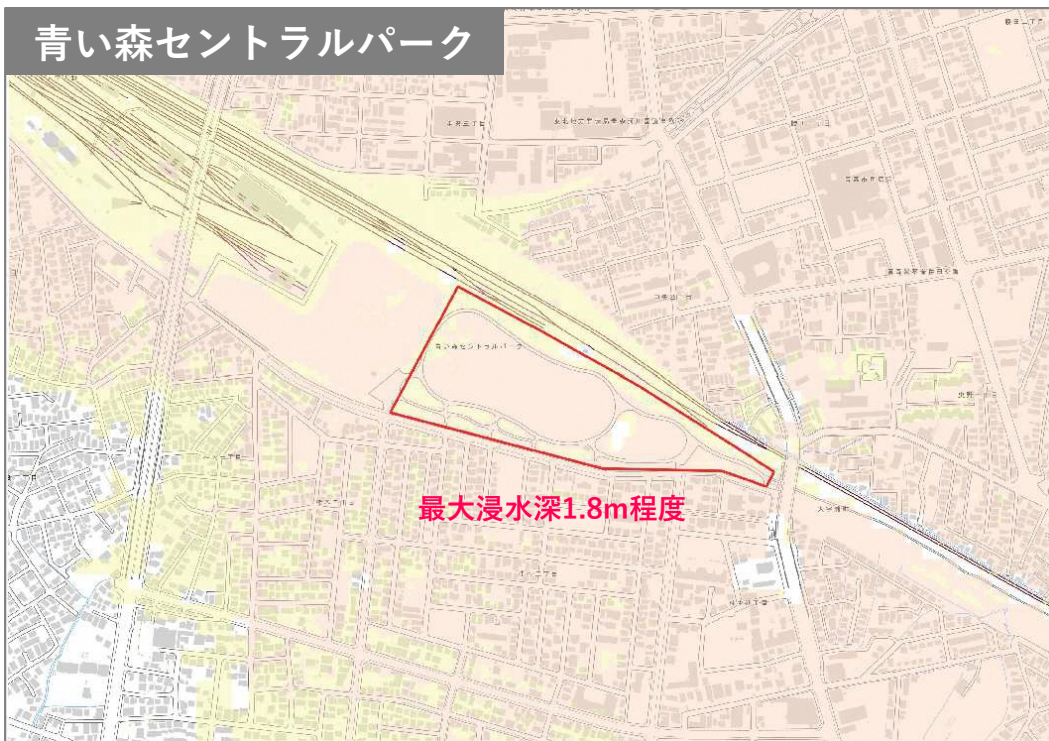
## <メリット・デメリット④>

項目		青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺
その他	メリット		<ul style="list-style-type: none"> <li>一部住宅地はあるが、南側は農地が広がり、周辺も商業施設が多いため、<b>ドクターヘリの運航や救急搬送時の騒音公害については問題が少ない</b></li> </ul>
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新駅の駅前広場を整備する場合、病院敷地がさらに最大で<b>0.8ha程度減少する可能性</b>がある</li> <li>■ 周辺は閑静な住宅街であり、<b>ドクターヘリの運航や救急車搬送時の騒音公害が懸念</b>される。</li> <li>■ 周辺が住宅地であり、鉄道や橋も近接していることから、ヘリポートの整備にやや難がある（地上ヘリポート及び格納庫の整備が困難）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>【再掲】浜田中央公園（都市公園）、県営スケート場、サンドームの移設が必要</b></li> <li>■ 区画整理事業区域内のため既存公園の廃止には、一部補助金の返還が生じる 公聴会を開催するなど住民同意等を得た上で、都市計画の変更手続きが必要</li> <li>■ 周辺の一部は住宅地であり、高速道路なども近接していることから、ヘリポートの整備にやや難がある（地上ヘリポート及び格納庫の整備が困難）</li> </ul>



## <浸水状況の比較>

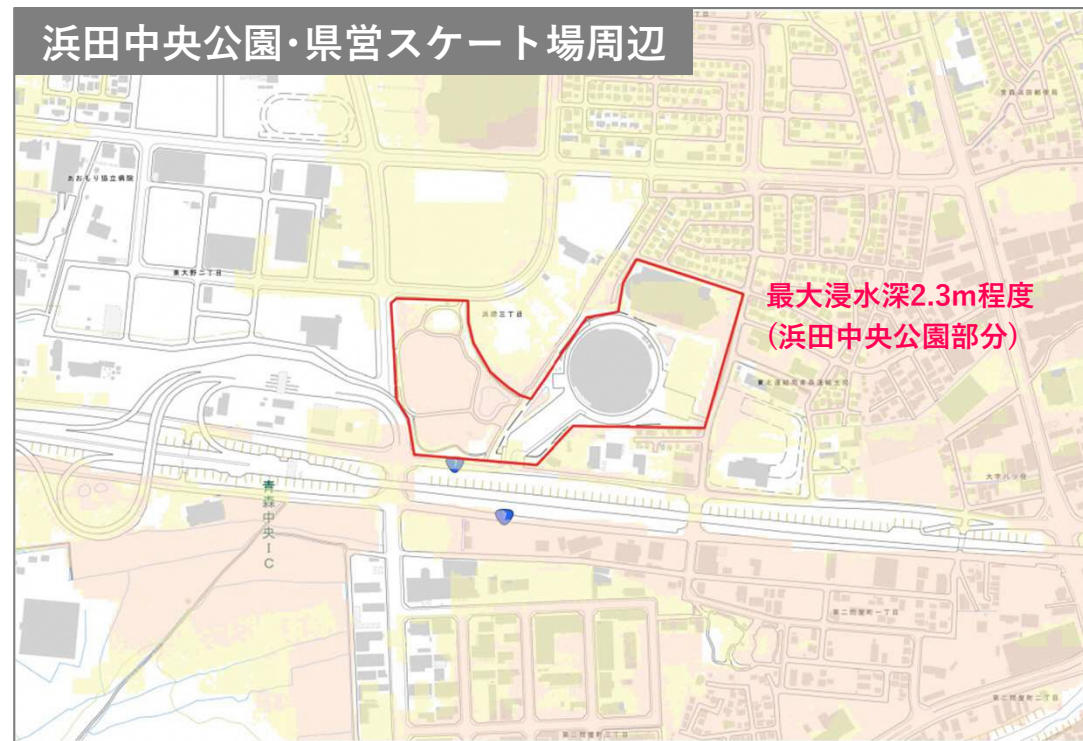
青い森セントラルパーク



最大浸水深1.8m程度

ピンク：0.5m以上3.0m未満  
黄色：0.5m未満

浜田中央公園・県営スケート場周辺



最大浸水深2.3m程度  
(浜田中央公園部分)

ピンク：0.5m以上3.0m未満  
黄色：0.5m未満

- 最大浸水深1.8m（敷地東側）、平均浸水深0.6m
- 病院本体などの建物については、盛土等による浸水対策を実施

- 最大浸水深2.3m（浜田中央公園部分）  
※ 浜田中央公園は周りに比べて低くなっているため
- 県営スケート場部分については、浸水しないことから、当該箇所に病院本体を建設する場合は浸水対策は不要  
※ 浜田中央公園部分については、必要に応じて盛土等により対策を実施

## <青い森セントラルパークの交通量分析結果【R4実施】>

交通量差分(百台/日)



- 青い森セントラルパーク前の東西道路（県道27号線～旭町通り）で広範囲にわたり、3～4千台/日程度の交通量の増加が予想される。
- 病院出入口付近の区間および、中央大橋下の交差点では、混雑度が1.01～1.27と、ピーク時間を中心として連続的な混雑が予想される。
- なお、病院入口に接続する交差点部は、右左折専用レーンが無く、病院の出入車と直進車の混在により、ピーク時での大きな混雑が懸念される。

混雑度



青森中央大橋アンダー交差点

青森市総合体育館入口前交差点

## <浜田中央公園・県営スケート場周辺の交通量分析結果【R6実施(速報)】>

交通量差分(百台/日)

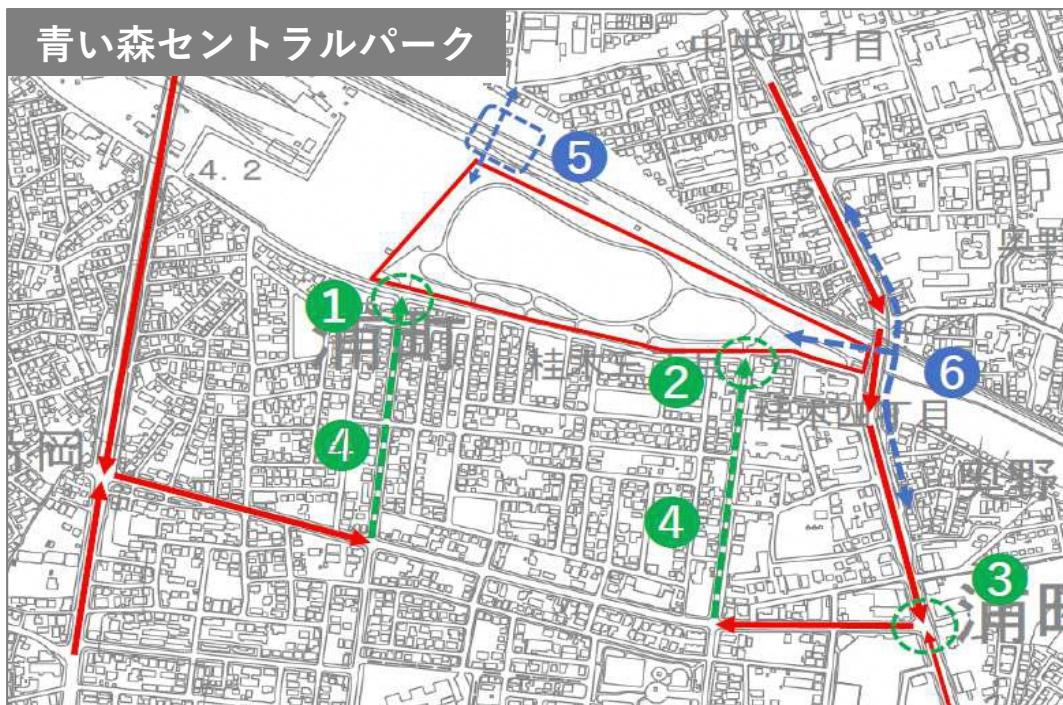


- 浜田中央公園・県営スケート場南側道路(国道7号線)で4~5千台/日程度の交通量の増加が予想される。
- 南側道路では、混雑度が0.50~0.72となり、大きな影響は予想されない。  
※H27の現況で0.40~0.62

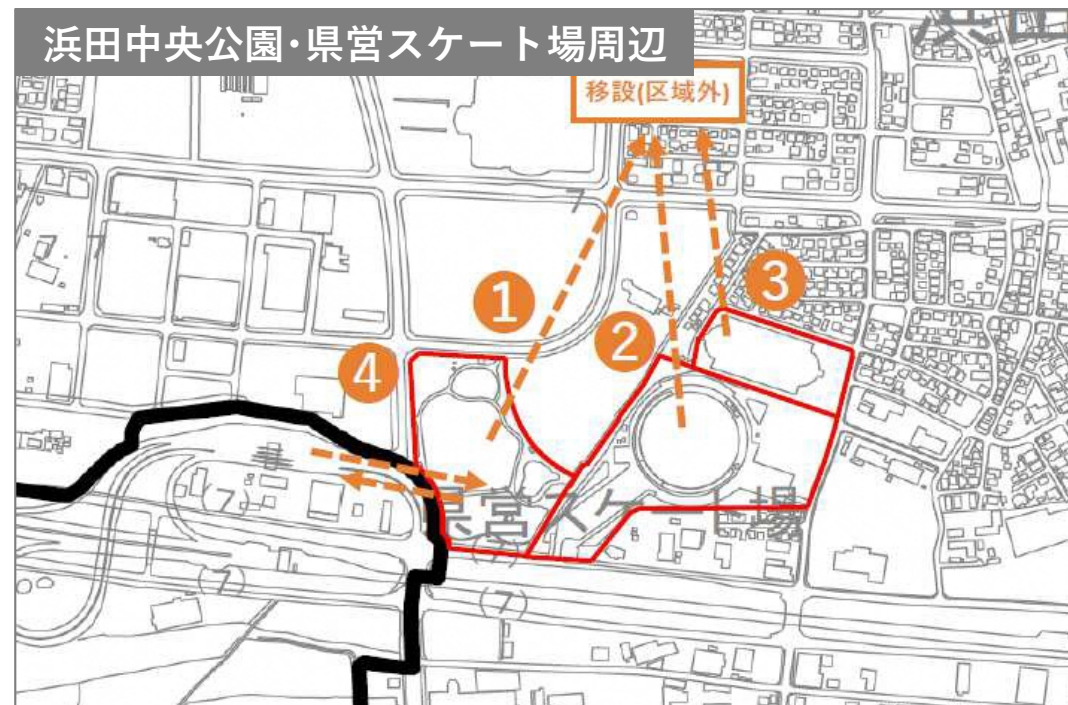
混雑度



## <統合新病院整備に当たって必要な取組(渋滞対策や施設の移設等)>



- ①② 病院への入口を2か所に分け、入口交差点に右折レーンを設置
- ③ 国道103号の桂木四丁目交差点に右折レーンを設置
- ④ バスや緊急車両の通行を考慮し、必要な路線に対して、既存道路の車道幅員を拡幅（歩道幅員確保のため無電柱化）
- ⑤ 新駅・自由通路を設置
- ⑥ 八甲田大橋から直接アクセスする道路の設置と、そのための八甲田大橋の架替



- ① 浜田中央公園を移設
- ② 県営スケート場を移設
- ③ サンドームを移設
- ④ 青森中央ICからのアクセス道路を設置

＜経費比較＞ ※各事業費は他事例を参考に面積や道路延長などで案分した超概算であり、変動の可能性があること（単位：億円）

区分	青い森セントラルパーク		事業主体(負担)			浜田中央公園・県営スケート場周辺		事業主体(負担)		
		事業費	県	市	病院		事業費	県	市	病院
渋滞対策	車道拡幅・交差点改良	3	1	2						
	無電柱化	18		18						
	八甲田大橋からのアクセス道路(架替)	115	115							
	八甲田大橋からのアクセス道路(アプローチ橋)	10	10			※新駅・自由通路については、詳細な積算は困難であることから、過去の事例等により推計				
アクセス対策	新駅・自由通路	100 <sub>以上</sub>	$\alpha$	$\beta$		中央ICからの連絡道路	1	1		
浸水対策	セントラルパーク盛土	7			7	浜田中央公園盛土	7			7
解体	セントラルパーク内施設	1	1			県営スケート場	9	9		
						サンドーム	6		6	
						浜田中央公園内施設	1		1	
その他	スケート場改修	51	51			スケート場整備	88	88		
	サンドーム改修	18		18		サンドーム整備	42		42	
						公園整備	7		7	
						八甲田大橋補修	2	2		

## <地盤の比較>

- 液状化及び杭の支持層の評価は、**既存地質調査報告書を基とした整備アドバイザー業務受託者の考察**
- **青い森セントラルパーク以外の4箇所**については、液状化判定に必要な土質試験を行っていないため、**ボーリング柱状図より推定**
- 設計の際には建設予定位置にて**地盤調査を行い再評価する必要あり**。

地区	市内中央部	外環状線 (内側)	外環状線 (外側中央)	外環状線 (外側中央)	外環状線 (外側東)
箇所	青い森セントラル パーク	浜田中央公園・ 県営スケート場	総合社会教育センター	県立図書館	東青地域整備部庁舎
杭の 支持層	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 50mまで 支持層候補なし</li> <li>■ 青森市役所建替の 地層から <b>65m程度と想定</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>45～50m付近</b>に 支持層候補あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 30～35m、 45～50m付近に 支持層候補あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 45～50m、 55～60m付近に 支持層候補あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 50mまで 支持層候補なし</li> </ul>
液状化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>液状化危険度の高い層が存在</b>する</li> </ul> <p>(地盤調査による液状化判定より)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地表面から<b>15mまでの層は液状化の可能性</b>がある</li> </ul> <p>(ボーリング柱状図より推定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地表面から13mまでの層および20m付近の層は液状化の可能性がある</li> </ul> <p>(ボーリング柱状図より推定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地表面から13mまでの層および20m付近の層は液状化の可能性がある</li> </ul> <p>(ボーリング柱状図より推定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地表面から15mまでの層は液状化の可能性がある</li> </ul> <p>(ボーリング柱状図より推定)</p>